

# 令和3年度化学物質管理目標等報告の概要〔資料編〕

## 1 市町村別・業種別の報告状況

(kg/年)

市町村名	報告 事業所数	排出量						移動量						使用量					
		R1 排出量		R2 排出量		R3 削減目標		R1 移動量		R2 移動量		R3 削減目標		R1 使用量		R2 使用量		R3 削減目標	
		実績		達成状況		削減目標		実績		達成状況		削減目標		実績		達成状況		削減目標	
		削減目標	実績	達成状況	削減目標	実績	達成状況	削減目標	実績	達成状況	削減目標	実績	達成状況	削減目標	実績	達成状況	削減目標	実績	達成状況
樺須賀市	32	866,319	831,138	14	▲35,181	達成	0	219,419	168,343	0	▲51,076	達成	0	36,013,887	32,013,932	89,834	▲3,999,955	達成	2,256
平塚市	74	242,988	206,136	0	▲36,851	達成	0	1,235,343	1,122,843	133	▲112,500	達成	1,200	42,749,587	38,501,319	0	▲4,248,268	達成	0
鎌倉市	12	2,148	1,334	19	▲814	達成	19	17,053	5,256	0	▲11,796	達成	670	3,678,372	2,435,729	1,011	▲1,242,643	達成	0
藤沢市	60	290,918	271,424	0	▲19,494	達成	0	133,102	97,745	0	▲35,357	達成	0	18,046,568	16,218,377	13,641	▲1,828,191	達成	4,072
小田原市	41	96,788	81,792	0	▲14,996	達成	0	943,037	898,876	0	▲44,161	達成	3	12,146,121	10,728,361	2,763	▲1,417,760	達成	2,450
茅ヶ崎市	24	78,339	51,123	0	▲27,216	達成	0	342,558	500,741	0	▲158,183	非達成	0	11,273,386	9,887,357	0	▲1,386,029	達成	0
逗子市	1	811	800	0	▲11	達成	0	330	0	0	▲330	達成	0	0	0	0	0	0	0
三浦市	6	9,975	6,545	0	▲3,430	達成	0	3,230	2,800	0	▲430	達成	0	1,554,259	368,708	0	▲1,185,551	達成	0
秦野市	41	170,941	160,512	0	▲10,428	達成	0	100,319	92,488	0	▲7,831	達成	0	9,245,714	8,437,854	2,525	▲807,860	達成	1,021
厚木市	58	146,442	126,563	3,774	▲19,879	達成	0	55,905	50,980	712	▲4,925	達成	2,548	20,618,027	19,042,121	2,656	▲1,575,906	達成	5,793
大和市	35	89,730	107,234	256	▲17,504	非達成	17	12,475	12,060	0	▲415	達成	0	9,018,907	8,179,015	2,593	▲839,892	達成	5,908
伊勢原市	27	37,120	33,719	150	▲3,402	達成	0	80,253	51,983	560	▲28,270	達成	0	6,516,943	6,136,796	0	▲380,147	達成	90
海老名市	25	106,509	98,591	232	▲7,918	達成	255	46,097	39,669	61	▲6,428	達成	64	6,698,169	9,027,216	600	▲2,329,047	達成	2,000
座間市	20	48,511	53,871	2	▲5,361	非達成	0	56,961	55,377	0	▲1,583	達成	0	5,102,857	5,637,596	24,685	▲537,739	非達成	21,653
南足柄市	15	51,683	44,302	420	▲7,381	達成	420	120,565	99,881	0	▲20,684	達成	0	6,959,854	3,986,451	0	▲2,973,403	達成	0
緑山市	26	62,544	72,200	0	▲9,657	非達成	0	28,977	31,860	1,000	2,883	非達成	0	6,458,371	5,595,087	9,200	▲863,284	達成	7,600
葉山町	4	765	281	0	▲484	達成	0	0	0	0	0	0	2,628,339	1,264,793	0	▲1,363,546	達成	0	
秦川町	21	58,555	58,352	0	▲202	達成	0	43,877	46,733	0	2,856	非達成	200	7,895,792	7,009,945	254	▲885,847	達成	101
大磯町	4	625	565	0	▲60	達成	0	0	0	0	0	0	1,896,880	1,652,819	0	▲244,061	達成	0	
二宮町	2	2,500	2,000	0	▲500	達成	0	0	1	0	1	達成	0	2,500	2,000	0	▲500	達成	0
中井町	3	406	356	0	▲50	達成	0	0	0	0	0	0	1,224,374	1,044,496	0	▲179,878	達成	0	
大井町	8	5,384	3,326	0	▲2,058	達成	0	39	67	0	28	非達成	0	3,199,477	2,988,558	0	▲210,919	達成	0
松田町	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山北町	6	412	789	0	▲378	非達成	0	3,023	28,889	0	25,866	非達成	0	816,979	876,244	0	59,265	非達成	0
開成町	5	225,928	179,489	0	▲46,440	達成	0	6,593	6,961	0	368	非達成	0	383,064	322,882	1,200	▲60,182	達成	1,200
箱根町	8	1,972	1,735	0	▲237	達成	0	3,700	6,000	0	2,300	非達成	0	286,402	135,336	0	▲131,066	達成	0
真鶴町	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
湯河原町	3	3,437	3,671	0	235	非達成	0	0	0	0	0	0	206,442	724,714	0	518,272	非達成	0	
愛川町	22	35,013	91,677	0	56,664	非達成	0	38,414	41,086	0	2,672	非達成	0	3,750,871	3,711,059	4,566	▲39,812	達成	955
清川村	1	0	0	0	0	達成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	584	2,636,761	2,489,529	4,867	▲147,232	達成	711	3,491,269	3,360,639	2,466	▲130,630	達成	4,685	122,352,142	195,928,765	155,528	▲25,423,377	達成	55,099

※1 表中の記号は次のとおりです。

「▲」……負の数字であることを示しています。

※2 排出量及び移動量は化学物質の届出に、使用量は条例の報告に基づいています。

※3 排出量(移動量・使用量)の値は、各事業所から報告されたデータ(ダイオキシン類は除く)を市町村ごとに合計したものを小数点第一位で四捨五入し、整数表示しています。

※4 「実績」は、令和2年度の排出量(移動量・使用量)から令和元年度の排出量(移動量・使用量)を引いた量を示しています。(計算上は、小数点第一位を四捨五入する前の数値を用いているため、整数表示した2カ年の排出量(移動量・使用量)の差と必ずしも一致していません。)



## 2 化学物質の取扱い状況

### (1) 排出量の状況

#### ア 業種別排出量

令和2年度における業種別の排出量は図1-1のとおりです。

排出量上位3業種で、排出量全体の69.2%を占めていました。

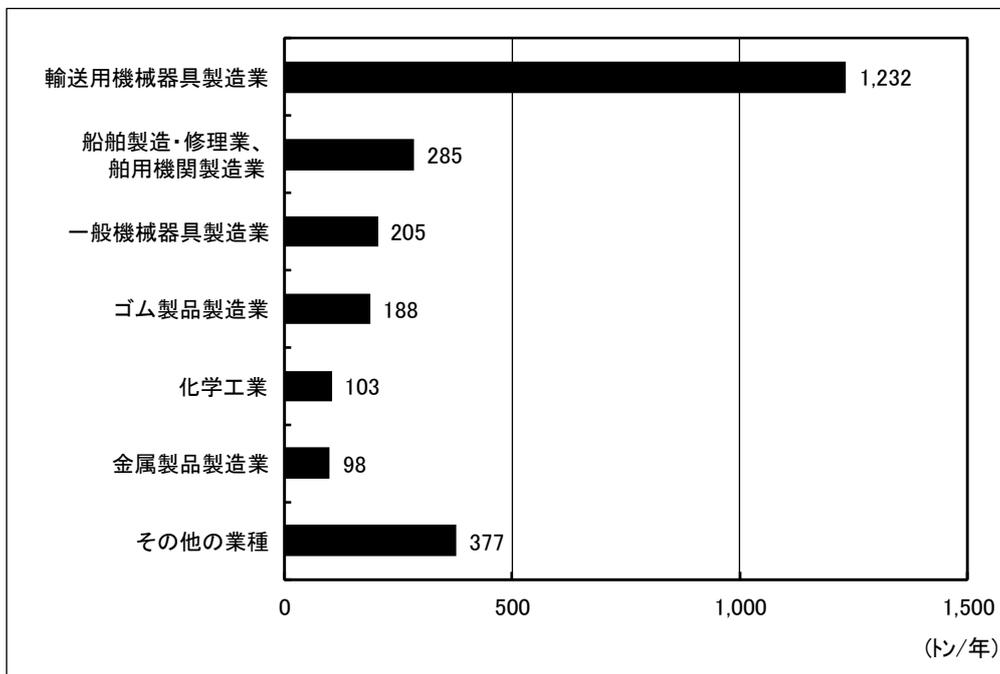


図1-1 業種別排出量

#### イ 物質別排出量

令和2年度における物質別の排出量は図1-2のとおりです。

排出量上位3物質で、排出量全体の84.5%を占めていました。

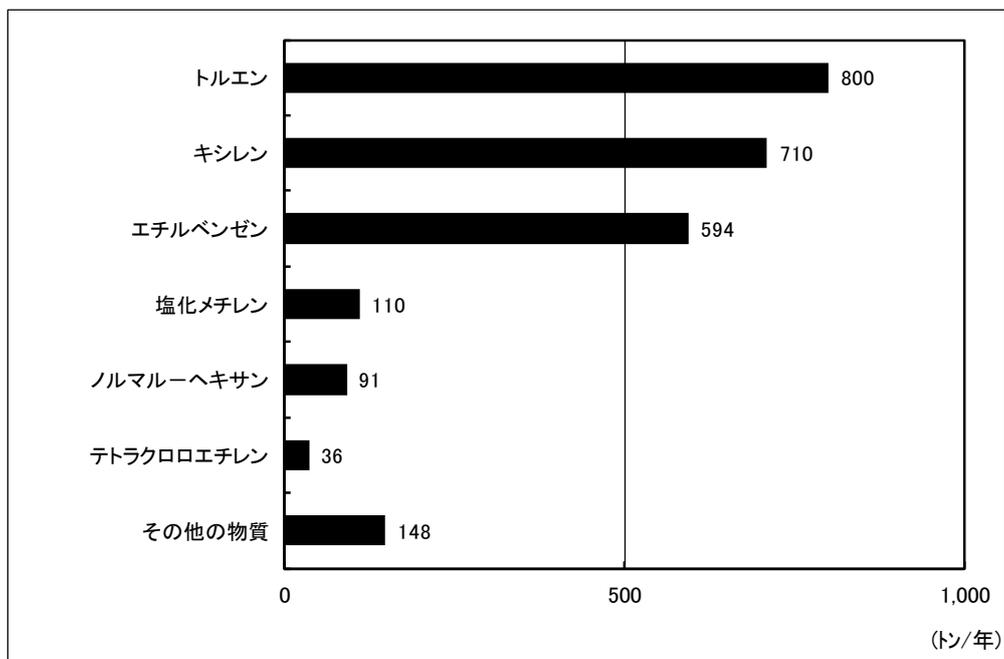


図1-2 物質別排出量

## ウ 用途別排出量

令和2年度における用途別の排出量は図1-3のとおりです。

「溶剤・塗料など」が、排出量全体の79.7%を占めていました。

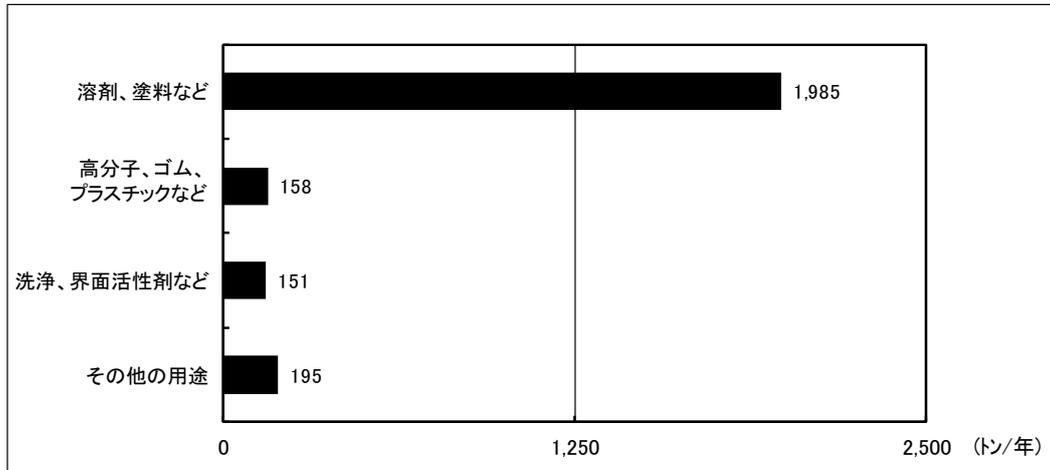


図1-3 用途別排出量

## (2) 使用量の状況

### ア 業種別使用量

令和2年度における業種別の使用量は図2-1のとおりです。

使用量上位3業種で、使用量全体の90.8%を占めていました。

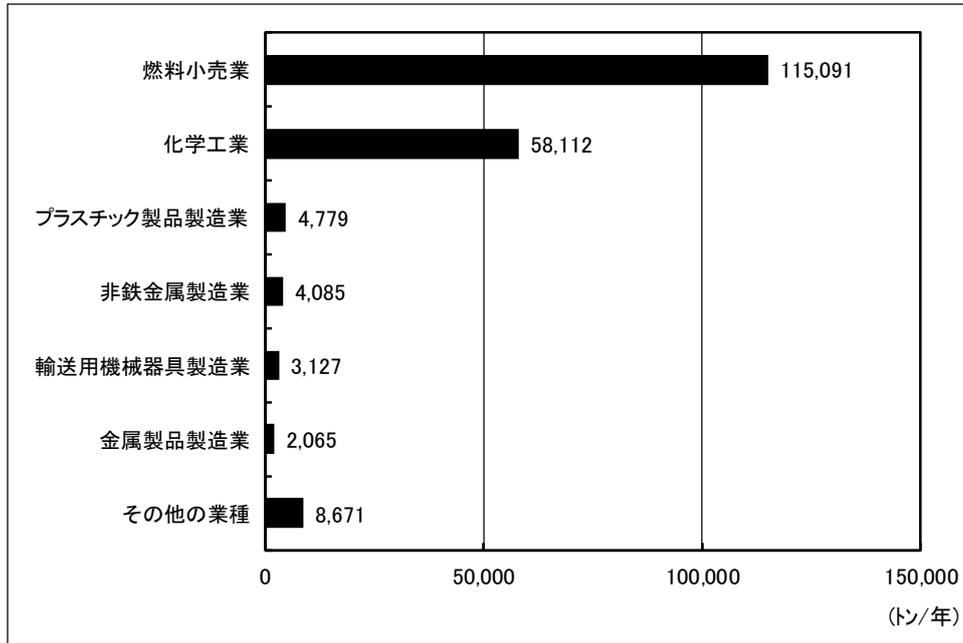


図2-1 業種別使用量

### イ 物質別使用量

令和2年度における物質別の使用量は図2-2のとおりです。

使用量上位3物質で、使用量全体の54.1%を占めていました。

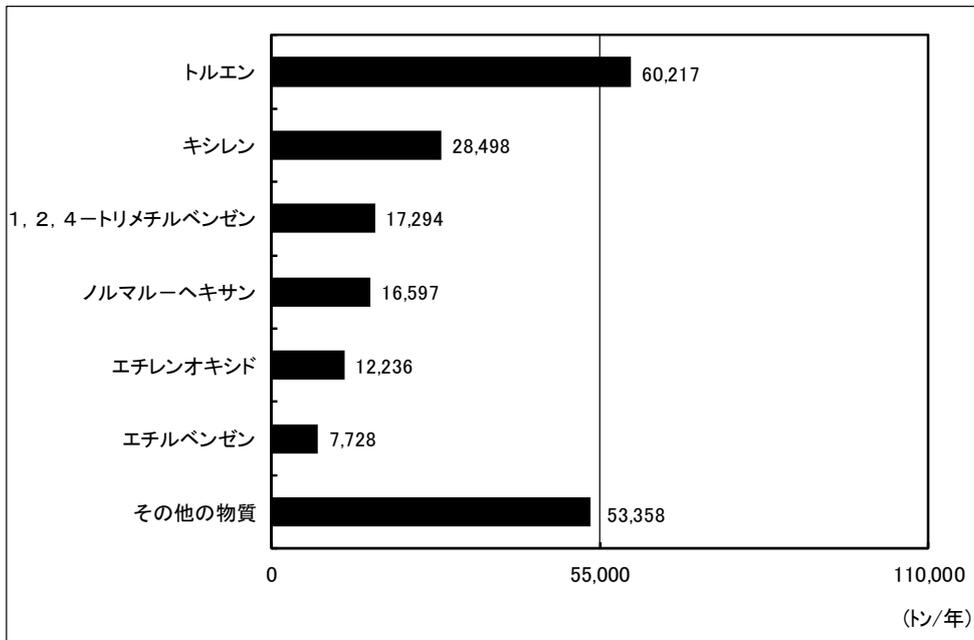


図2-2 物質別使用量

## ウ 用途別使用量

令和2年度における用途別の使用量は図2-3のとおりです。

「燃料など」が、使用量全体の59.6%を占めていました。

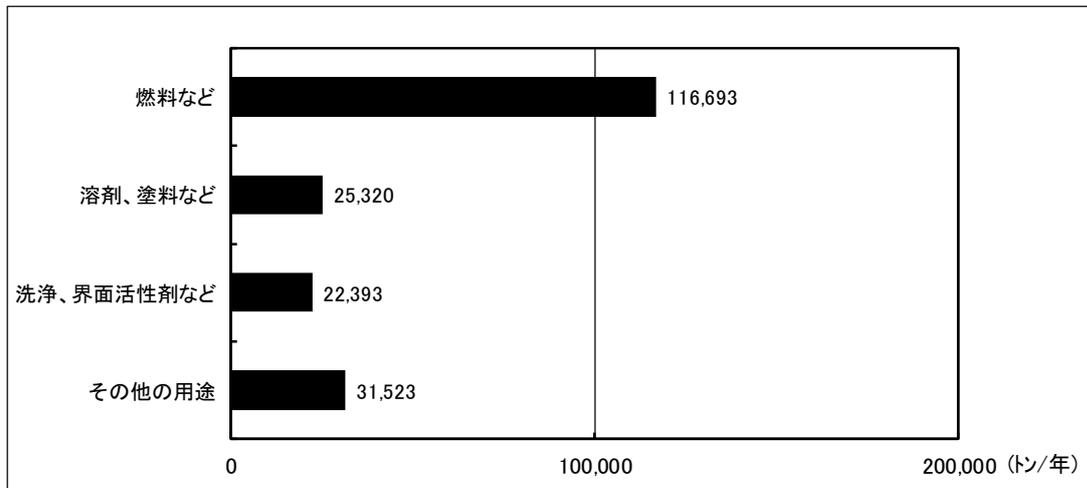


図2-3 用途別使用量

### 3 業種別の状況【令和3年度届出排出量上位3業種】

※ 排出量別事業所数は、化管法の届出の対象業種に基づき集計しているため、条例第42条に基づき報告を行った事業所数とは異なる場合があります。

#### (1) 輸送用機械器具製造業（排出量第1位）

##### ア 排出量別事業所数

令和3年度の報告事業所は47事業所であり、排出量別の事業所数は図3-1のとおりでした。排出量上位3事業所で、当該業種の排出量全体の61.8%を占めていました。

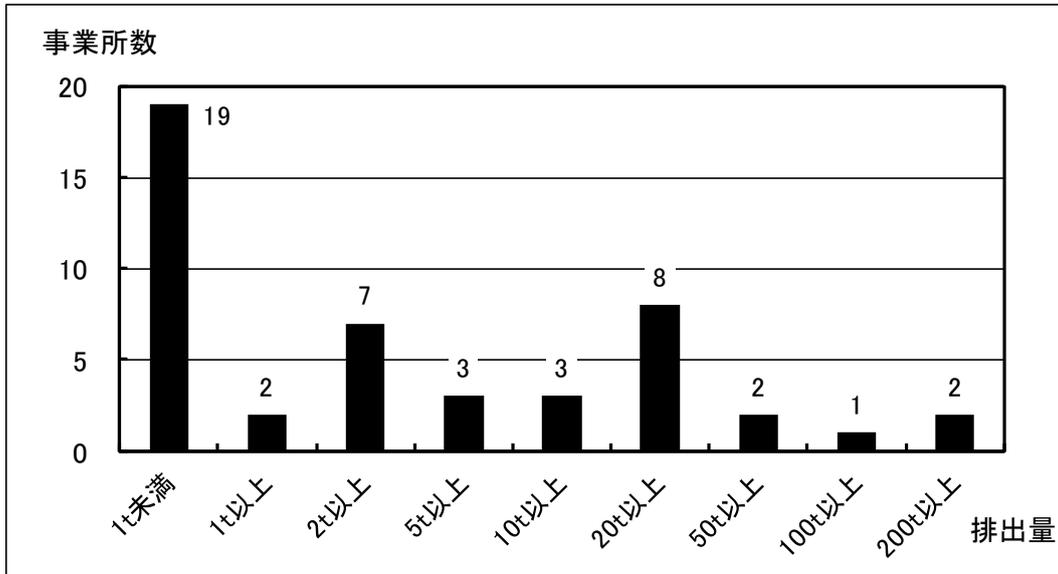


図3-1 排出量別事業所数

##### イ 当該業種が占める割合

輸送用機械器具製造業は、図3-2のとおり、報告を行った全事業所の排出量の49.5%を占めていました。

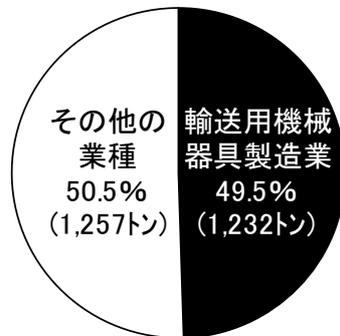


図3-2 排出量（令和2年度）

### ウ 物質別排出量の状況

令和3年度に報告のあった物質数は28物質で、物質別の排出量は図3-3のとおりでした。排出量上位3物質で、当該業種の排出量全体の93.7%を占めていました。

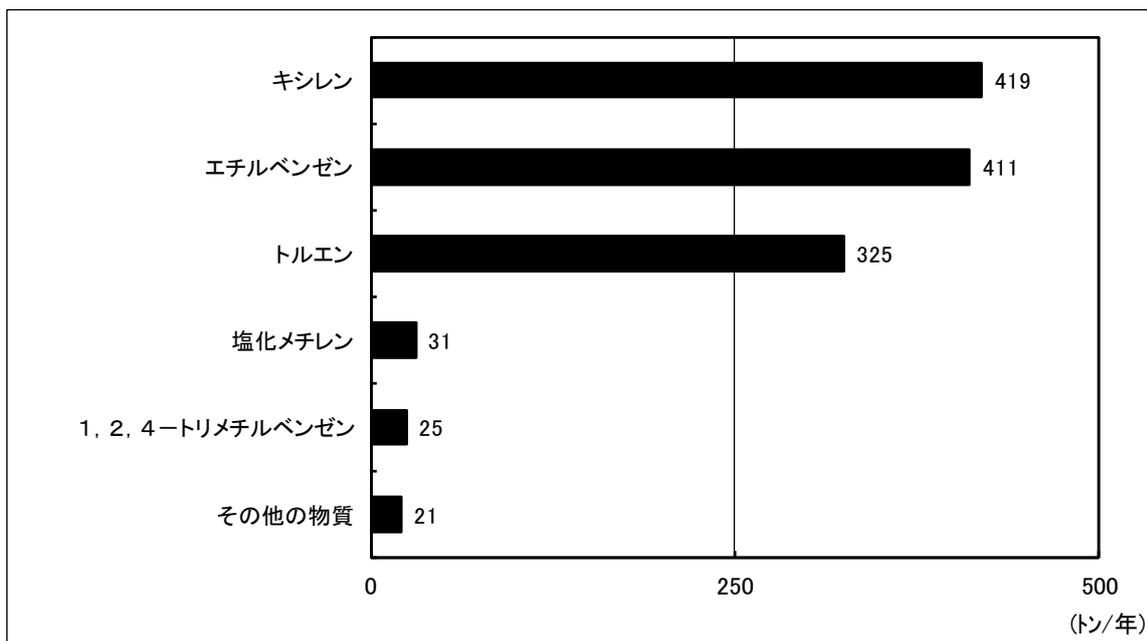


図3-3 物質別排出量

### エ 用途別排出量の状況

令和3年度に報告のあった用途別の排出量は、図3-4のとおりでした。「溶剤・塗料など」が、当該業種の排出量全体の95.9%を占めていました。

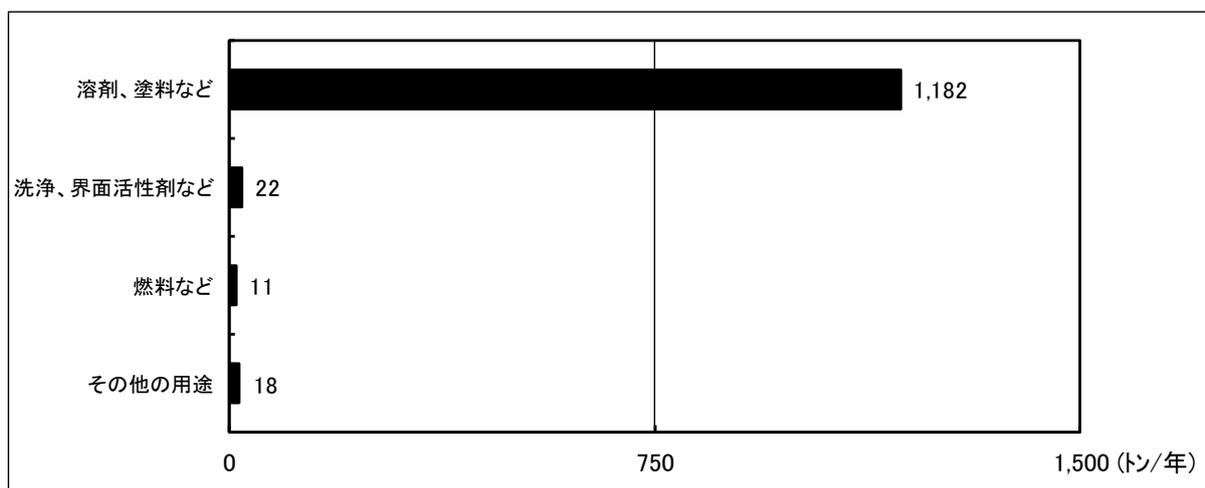


図3-4 用途別排出量

## (2) 船舶製造・修理業、船用機関製造業（排出量第2位）

### ア 排出量別事業所数

令和3年度の報告事業所は4事業所で、排出量別の事業所数は図4-1のとおりでした。排出量上位1事業所で、当該業種の排出量全体の90.9%を占めていました。

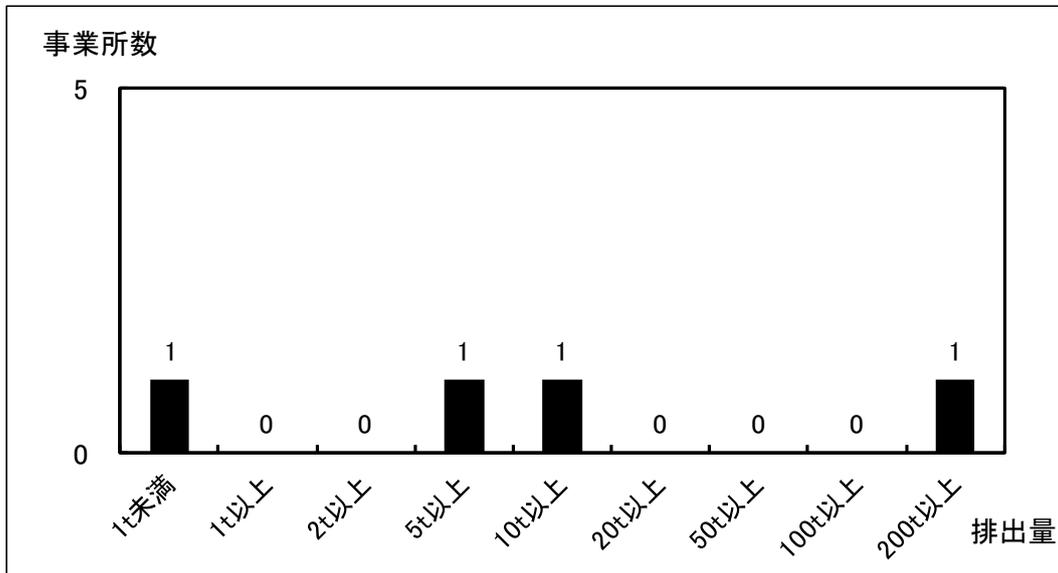


図4-1 排出量別事業所数

### イ 当該業種が占める割合

船舶製造・修理業、船用機関製造業は、図4-2のとおり、報告を行った全事業所の排出量の11.5%を占めていました。

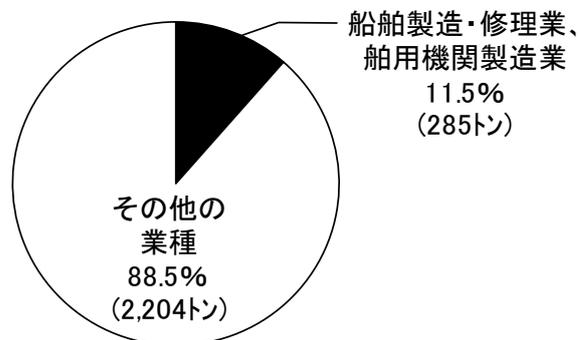


図4-2 排出量（令和2年度）

### ウ 物質別排出量の状況

令和3年度に報告のあった物質数は10物質で、物質別の排出量は図4-3のとおりでした。排出量上位3物質で、当該業種の排出量全体の98.5%を占めていました。

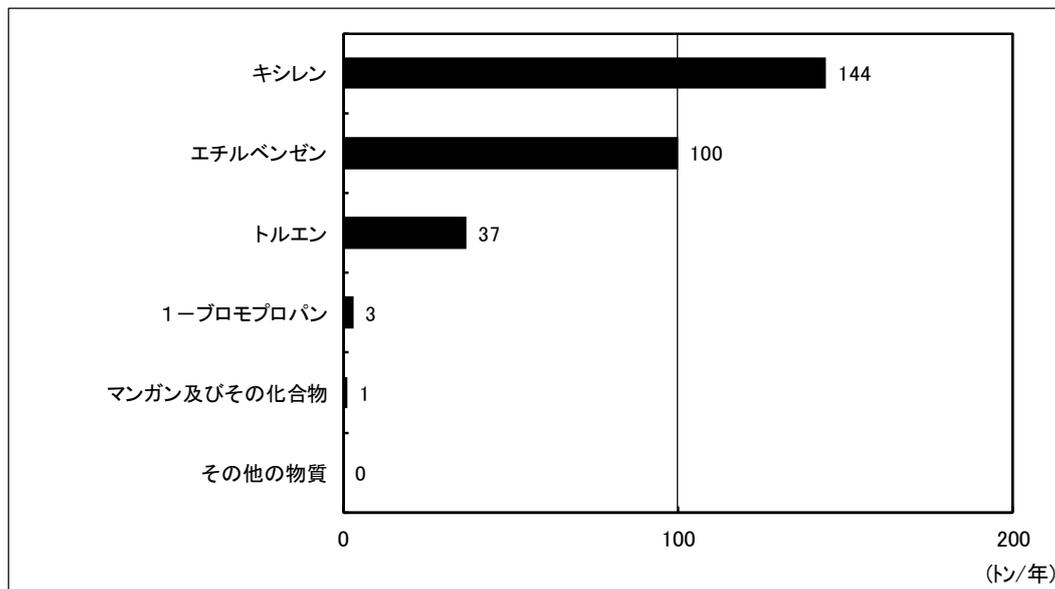


図4-3 物質別排出量

### エ 用途別排出量の状況

令和3年度に報告のあった用途別の排出量は、図4-4のとおりでした。「溶剤・塗料など」が、当該業種の排出量全体の98.5%を占めていました。

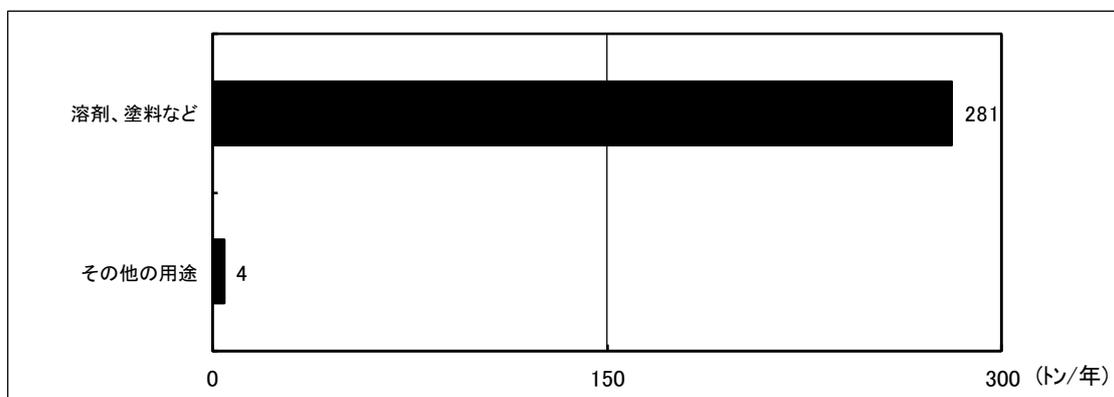


図4-4 用途別排出量

### (3) 一般機械器具製造業（排出量第3位）

#### ア 排出量別事業所数

令和3年度の報告事業所は19事業所で、排出量別の事業所数は図5-1のとおりでした。排出量上位3事業所で、当該業種の排出量全体の65.5%を占めていました。

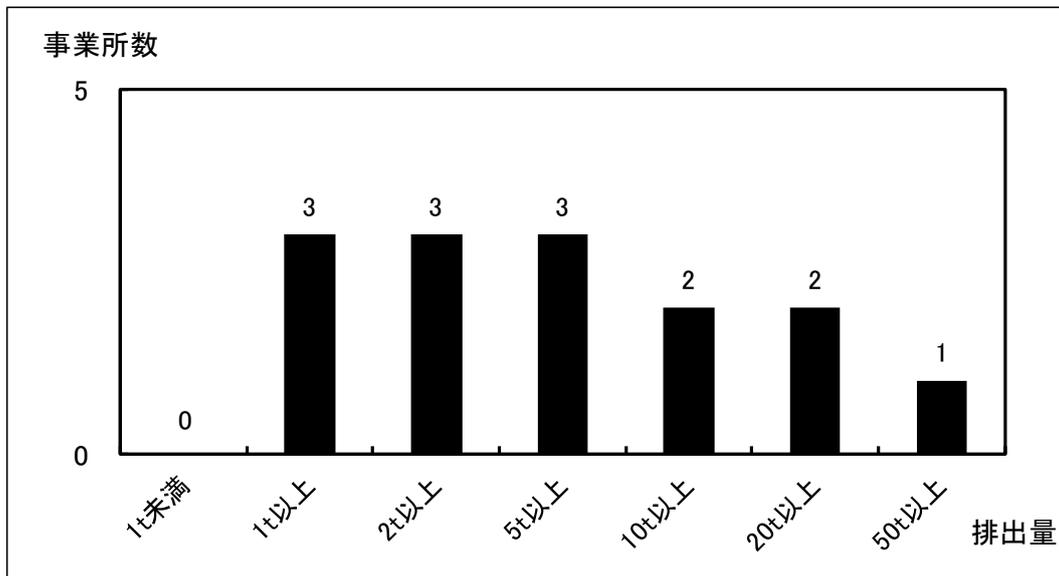


図5-1 排出量別事業所数

#### イ 当該業種が占める割合

一般機械器具製造業は、図5-2のとおり、報告を行った全事業所の排出量の8.2%を占めていました。

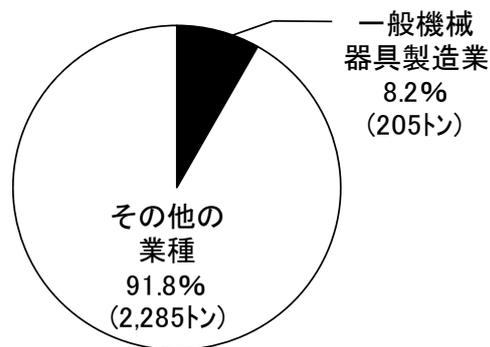


図5-2 排出量（令和2年度）

### ウ 物質別排出量の状況

令和3年度に報告のあった物質数は13物質で、物質別の排出量は図5-3のとおりでした。排出量上位3物質で、当該業種の排出量全体の97.7%を占めていました。

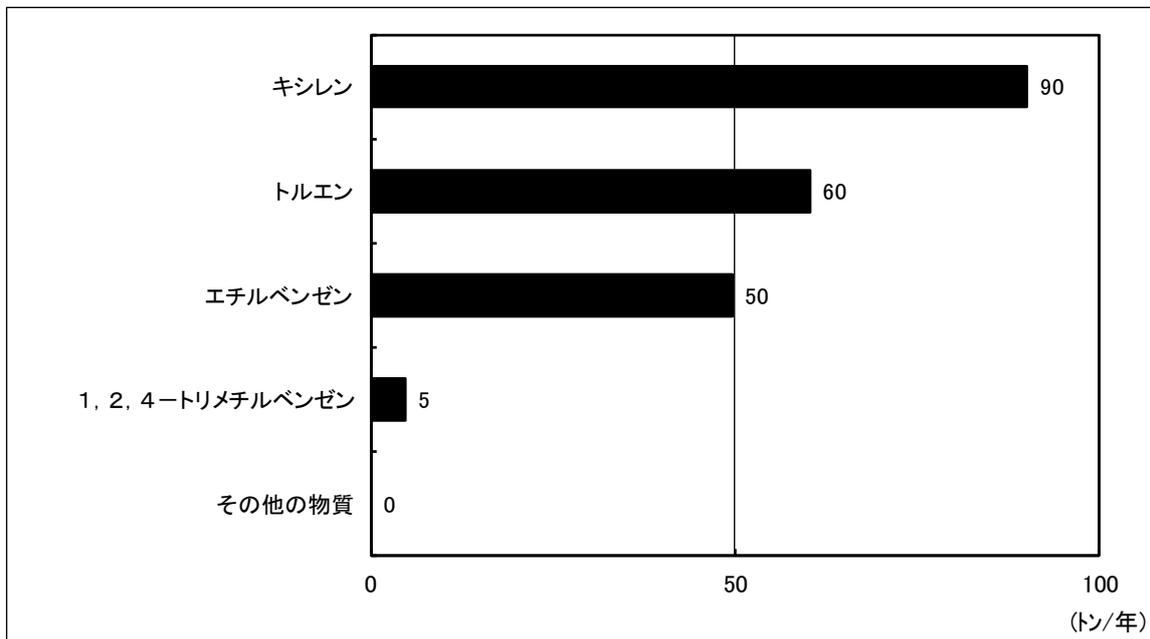


図5-3 物質別排出量

### エ 用途別排出量の状況

令和3年度に報告のあった用途別の排出量は、図5-4のとおりでした。「溶剤・塗料など」が、当該業種の排出量全体の95.1%を占めていました。

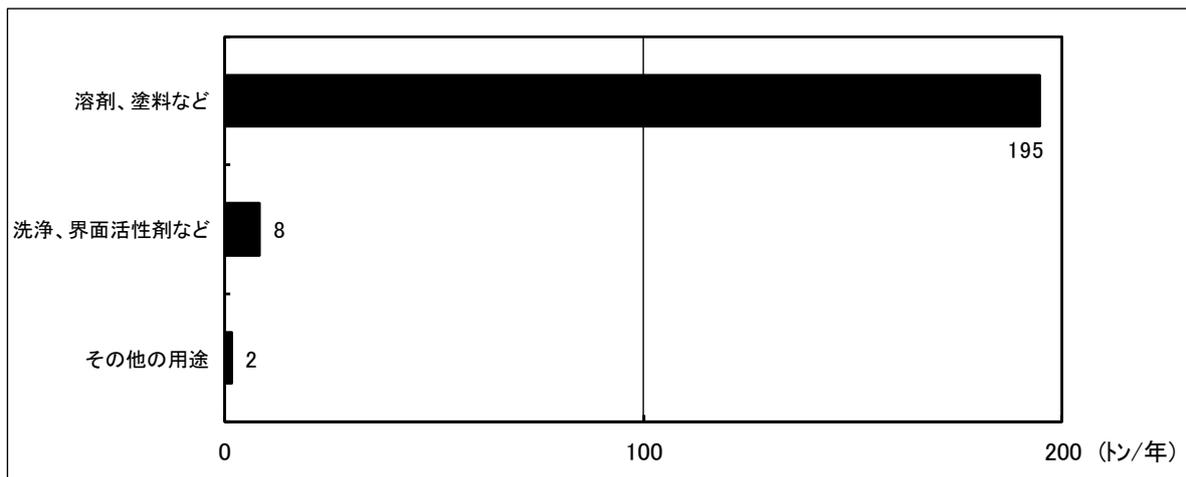


図5-4 用途別排出量

#### 4 主な化学物質の用途と有害性

今回の報告で、排出量が多かった化学物質の用途や有害性は次のとおりです。

物質名	主な用途	人に対する有害性
トルエン	合成原料（合成繊維、染料、火薬（TNT）、香料、有機顔料、可塑剤、ガソリン成分、溶剤（塗料、インキ））	長期間にわたって体内に取り込んだ結果、視野狭さく、目のふるえ、運動障害、記憶障害などの神経系の障害のほか、腎臓、肝臓や血液への障害が認められます。また、自然流産の増加や、妊婦のトルエン乱用による新生児の発育異常や奇形、黄体ホルモンの減少などが認められています。 シックハウス症候群との関連も疑われています。
キシレン	合成原料（テレフタル酸、染料、有機顔料、香料、可塑剤、医薬品）、ガソリン・灯油成分、溶剤（塗料、農薬）	高濃度で、眼やのどなどに対する刺激性や、中枢神経へ影響を与えることが報告されています。 シックハウス症候群との関連も疑われています。
エチルベンゼン	合成原料（スチレン）、溶剤	シックハウス症候群との関係が疑われています。 動物実験で肝臓及び肝臓重量の増加、肝細胞などの腫れが報告されています。 国際がん研究機関（IARC）はエチルベンゼンをグループ2B（人に対して発がん性があるかもしれない）に分類しています。
塩化メチレン	洗浄剤（金属脱脂）、溶剤（重合用）、エアゾール噴射剤、インキ成分、ペイント剥離剤	高濃度環境下において、吐き気、だるさ、めまい、しびれなどの神経系の症状が報告されています。 発がん性については、生物細胞を使った試験管内における変異原性試験では陽性を示したと報告されていますが、動物実験では明確に陽性を示す結果は得られていません。 国際がん研究機関（IARC）は塩化メチレンをグループ2B（人に対して発がん性があるかもしれない）に分類しています。
ノルマル-ヘキサン	溶剤（重合用、接着剤、塗料、インキ）	長期間空気中から吸入した結果、頭痛、四肢知覚異常、筋力低下などが報告されています。 動物実験で胎児への体重低下が認められています。
テトラクロロエチレン	溶剤（ドライクリーニング、医薬品、香料、塗料）、洗浄剤（原毛用）、合成原料（代替フロン）	長期間取り込み続けると、肝臓や腎臓への障害が認められることがあり、比較的低濃度では頭痛、めまい、眠気などの神経系への影響が現れることがあります。この神経系や腎臓への影響に関する報告から、大気環境基準が設定されています。

出典：「PRTRデータを読み解くための市民ガイドブック」  
「化学物質ファクトシート 2012年度版」  
環境省環境保健部環境安全課